

かんばしの風

令和7年2月27日
富士市立田子浦中学校
学校だより3月号

校訓 『美に挑む』
学校教育目標 『自分から ~つながる~』
重点目標 『たくましさ やさしさ』

地域とともに

いよいよ3月です。残る登校日はあと14日になりました。学校では、3年生が進路決定に向けて頑張っている一方、1・2年生はお世話になった3年生に感謝の気持ちを伝えようと、「3年生を送る会」に向けて準備を進めているところです。また、学習面においては、一人一人が学力をつけて1年を締めくくれるように、まとめの時期に入っています。

朝、子どもたちが登校する時間帯に合わせて、地域を歩きながら登校指導をしています。歩いていると、少しずつ道路沿いの木々の葉に潤いが見られ、日々葉の色に変化があることや、空も柔らかな日差しが届いてきているなど、春の訪れを感じます。そんな景色の中を子どもたちは、友達と会話をしながら歩いてきます。最近では、中学生だけでなく、小学生や一緒にながら見守りをしてくれている保護者の方とも気軽にあいさつをしています。気持ちの良いあいさつをしてくれる子どもたちの姿を見ると、とてもうれしくなります。朝の登校時には、子どもたちが安全に登校できるようにとボランティアで横断歩道に立ち、見守ってくれている地域の方々がいます。日差しが強い夏の日も、雨風が強い梅雨の時期や台風が多くなる時期も、寒さが厳しい冬の日も子どもたちを見守ってくれています。子どもたちが参加するボランティア活動でも、まちづくり協議会の方々をはじめ、諸団体の方々に支えられています。授業では、主に総合的な学習の時間の授業において、地域学習や職業体験の講師として学びを支えていただきました。1年間の教育活動は、保護者の皆様、地域の多くの方に見守られ支えていただいているおかげで、子どもたちが安心して学ぶことができていると感じています。地域の中にある学校として、多くの方に支えられていることを強く実感した1年間でした。

田子浦中学校が、学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールとして発足して2年目になります。学校運営協議会は、学校を支える地域の方を中心に構成されています。小中合同の協議会や小中学校の教員との懇談会など、子どもたちの様子や学校行事等、学校運営について様々な意見交換がなされ、運営に活かされています。小学校では、様々な授業や行事等に学習ボランティアの方が参加し、中学校でも授業内で講師として子どもたちの学びを支えてくれています。本当に多くの方々に学校教育が支えられています。

私たち職員一同も、子どもたちが大人になったとき、この田子浦地区で育ったことに誇りをもち、この地域を支えてくれる姿を楽しみにしながら、地域の方々とともに子どもたちを育て支えていきたいと思ひます。



<青少年赤十字 (JRC) 活動について> JRC に加盟しました！



青少年赤十字 (Junior Red Cross) は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開しています。本校のあいさつ運動や絵本の読み聞かせ等のボランティア活動を JRC の活動とともに推進し、さらに充実した活動にしていきたいと思ひます。